



ふるさと学習 「なぼい学」

下

名張市教育委員会

文化の十字路 名張

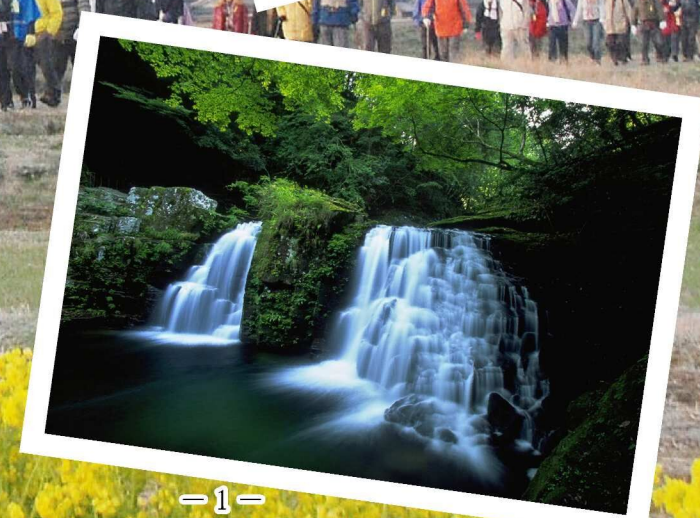
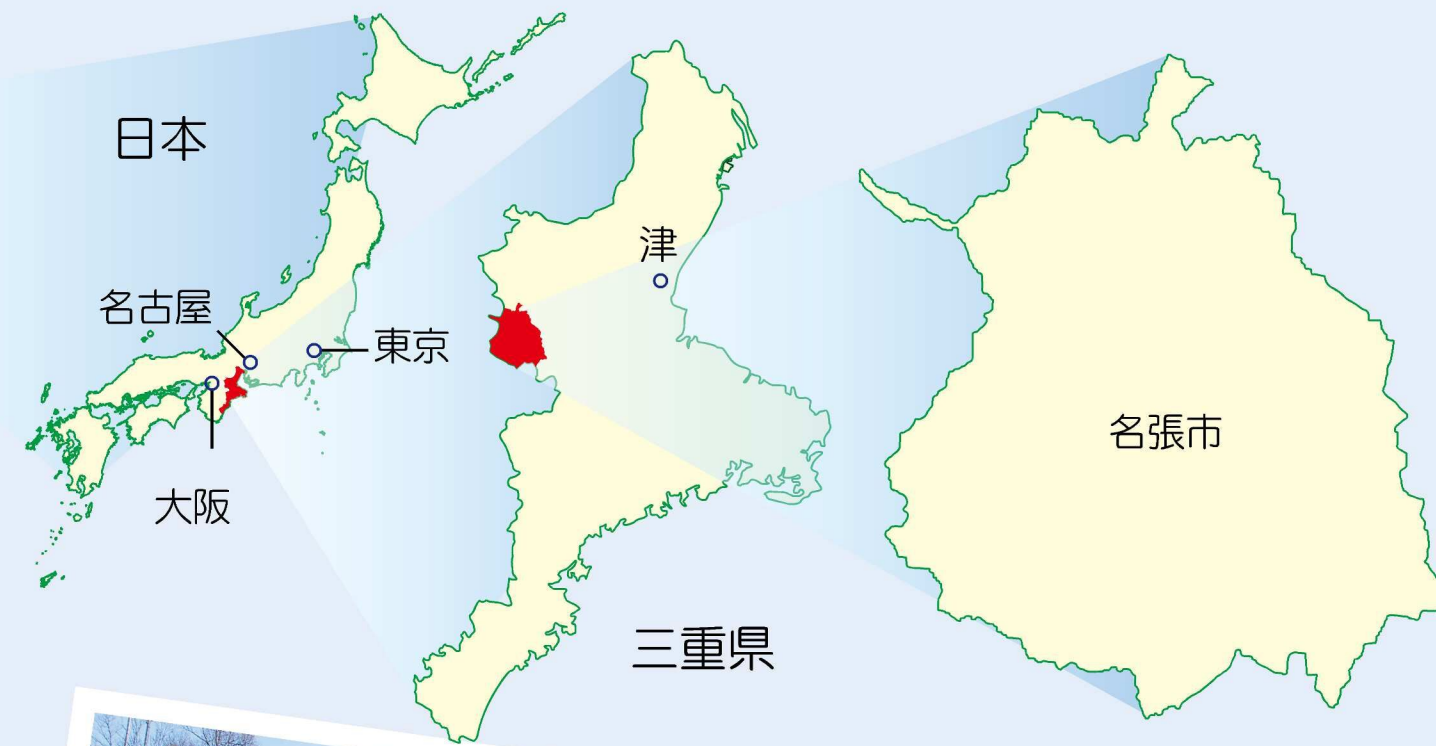


わたしたちの名張市は三重県の西側に位置し、^{きんき}近畿と中部の接点にあり、万葉の昔から東へ西へと往来する人々をつなぐまちとして栄えてきました。現在は、大都市への通勤圏^{けん}として住宅地が広がり、さまざまな地域から移り住んできた人々が昔からの市街地や農山村に住む人々とともに、新しいつながりをつくり、まちづくりを行っています。

また、名張市は^{あかめ しじゅうはちたき}赤目四十八滝などの豊かな自然や、^{みはたこふんぐん}美旗古墳群などの古い歴史遺産に恵まれ、貴重な文化も数多く残されているまちです。こうした自然や文化を、過去から現在、そして未来へと大切につなぐまちでもあります。

このように、名張市は時間や空間、人をつないできた“文化の十字路”のまちです。

そして、名張市は、昔からの伝統や文化を大切にしながら、グローバル化など時代の変化に対応するまちとして新しい工夫やチャレンジをしています。



伝えよう つくろう わたしたちの名張

ふるさと学習「なばり学」は、名張の自然、歴史、伝統・文化、産業、人等から、そのすばらしさを知り、生き方を考える学習です。名張のことを自分で調べたり、地域や保護者の人たちから教わったり、仲間と話し合ったりすることでふるさとを知り、ふるさとに誇りをもち、みなさんが、ふるさとを引き継ぎ、発展させていこうとする一人となることを期待しています。

名張のあゆみ



黒田庄ができる

「黒田の悪党」文献に初めて見られる
東大寺へ赤目一ノ井から、松明調進はじまる

観阿弥が小波田に座をたてる

夏見廃寺の金堂が建てられる
『万葉集』に「わが背子は…」名張の地名が見られる
『日本書紀』に隠、名張の文字が見られる

美旗古墳群が造られる

下川原・御所垣内遺跡(安部田)
など大規模な遺跡が出現する

下川原遺跡(夏見)に県内でも最大級の
土器棺墓が作られる

白早稲遺跡(百合が丘)で一万年ほど前に
使用された石器が発見される



人口ピーク八万五千人
人権尊重都市宣言
大規模住宅地開発
伊勢湾台風の被害
町村合併で名張市誕生
参宮鉄道(近鉄)開通、翌年花火大会開催
赤目四十八滝・香落溪が日本百景に
電話交換が始まる 電灯がつく

江戸川乱歩が新町に生まれる
町村制で名張町、滝川村・錦生村・箕曲村・薦原村・
蔵持村・比奈知村・国津村と美濃波多村(伊賀郡)が発足
名張郡は安濃津県となり、後に三重県と改称される
安政の大地震が起こる

名張大火で、藤堂家御殿や武家屋敷も焼失する
美旗新田の開墾が始まり、新田用水ができる
藤堂高吉が伊賀・伊勢で二万石を治める

天正伊賀の乱が起こる

日本のいきどろ

源頼朝が幕府を開く

足利尊氏が幕府を開く

徳川家康が幕府を開く
豊臣秀吉が全国を統一する
織田信長が室町幕府を倒す

大政奉還

第一次世界大戦
日露戦争
日清戦争

東京オリンピック・パラリンピック開催
東日本大震災
阪神・淡路大震災
東京オリンピック・パラリンピック開催
日本国憲法が公布
ポツダム宣言を受け入れる
太平洋戦争
第二次世界大戦
満州事変

稲作と金属器が伝わる

卑弥呼が魏に使いを送る

壬申の乱
大化の改新

平安京に都を移す
平城京に都を移す
大宝律令の制定

東京オリンピック・パラリンピック開催

東日本大震災
阪神・淡路大震災
東京オリンピック・パラリンピック開催
日本国憲法が公布
ポツダム宣言を受け入れる
太平洋戦争
第二次世界大戦
満州事変

第一次世界大戦
日露戦争
日清戦争

大政奉還

徳川家康が幕府を開く
豊臣秀吉が全国を統一する
織田信長が室町幕府を倒す

徳川家康が幕府を開く
豊臣秀吉が全国を統一する
織田信長が室町幕府を倒す

目次

〔上巻〕

- ① 忍者が生まれたまち名張
- ② 名張のお正月
- ③ 「旧町」たんけん
- ④ 名張につたわることば・うた・あそび
- ⑤ ぶどうづくり名人
- ⑥ 地いきのお店
- ⑦ 赤目四十八滝
- ⑧ むかしのくらし
- ⑨ 名張の祭り
- ⑩ 名張の自然
- ⑪ 公共しせつ
- ⑫ 住たく地の開発
- ⑬ 名張川とダム
- ⑭ 市民生活とごみ
- ⑮ 名張にも戦争があった
- ⑯ 市民がつくる祭り
- ⑰ 新田開発（きょう土を開く）
- ⑱ ぐらしをささえるとりくみ
- ⑲ 伊賀まちかど博物館



〔記号の説明〕
 【→P〇〇】…関連ページを示しています。

ゴール

ふるさと学習「なばり学」を
 学習したみなさんへ



自然

歴史

伝統・文化

人

産業・観光